

ジェネリック医薬品事業の拡大

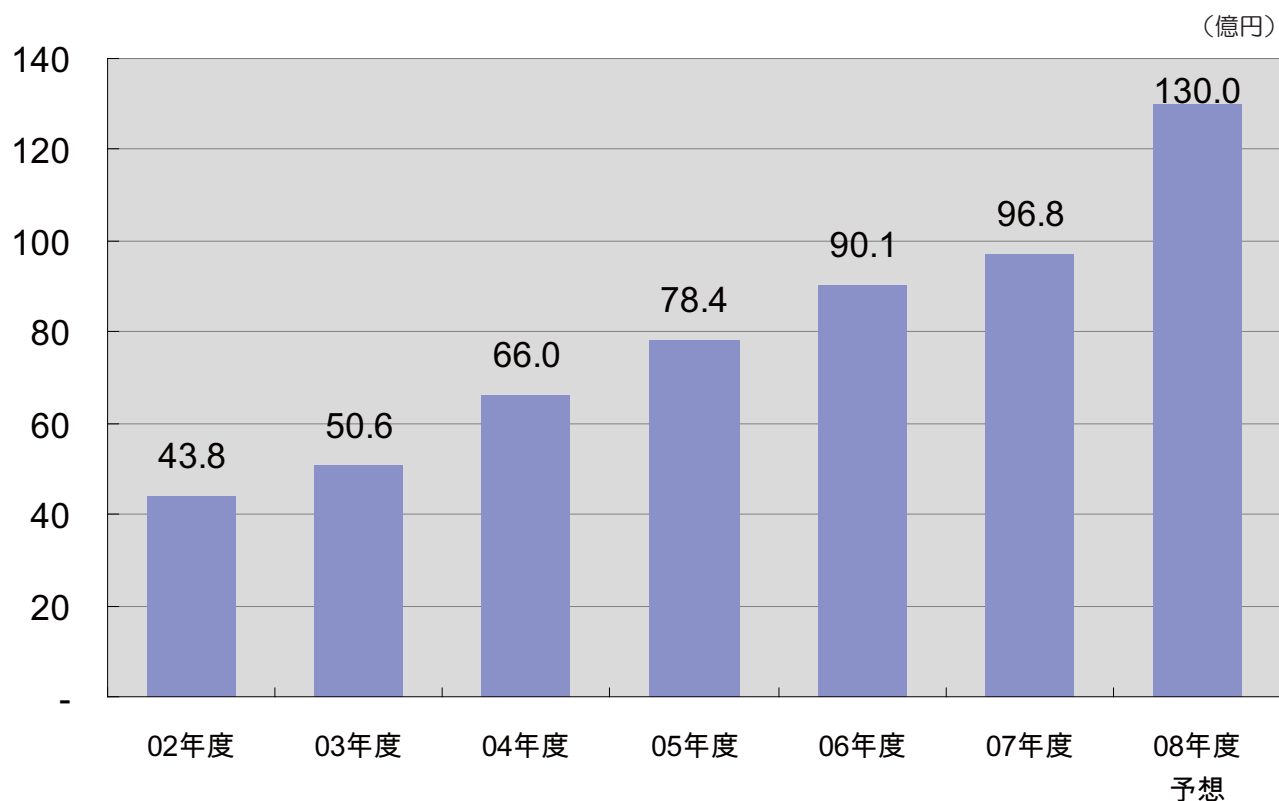
高齢化を背景に増大する医療費。その削減を目的として、国はジェネリック医薬品の使用を促進する政策を打ち出しています。

国はジェネリック医薬品の使用拡大に関して、その具体的指標として、数量シェアにおいて2012年度までに2006年度の16.9%から30%までに倍増させることを当面の目標に据え、さまざまな策を打ち出しています。

当社は2000年にこのような環境変化に先んじてジェネリック医薬品を事業の柱と位置づけ、年々その売上を伸ばし続けています。また、昨年よりスタートした中期経営計画においてはジェネリック医薬品事業を戦略展開における要として位置づけています。

特に、本年度は診療報酬改定や処方箋様式の再変更、大型ジェネリック医薬品の新発売などのさらなるジェネリック医薬品市場拡大への環境変化を受けて、ジェネリック医薬品の売上高について、前年比34.3%増収と、非常に意欲的な伸びを計画しています。

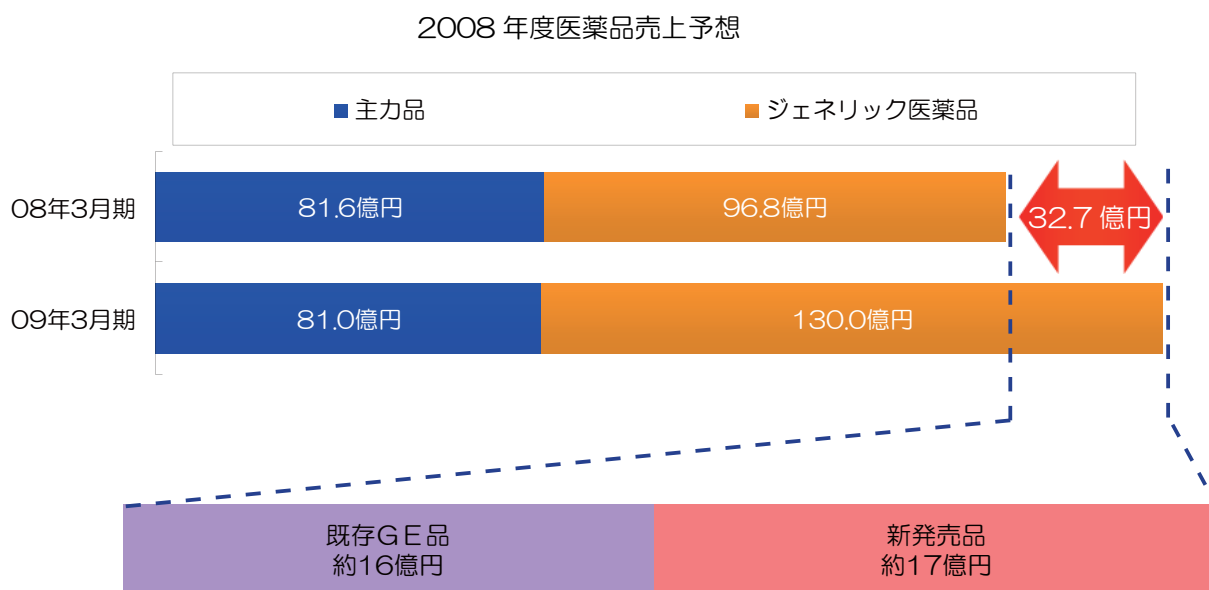
ジェネリック医薬品売上高推移



■ 2008年度業績予想 増収の内訳

09年度3月期の売上予想は昨年度売上に対して32.7億円の増収を予定しています。

この32.7億円の内訳は、2008年3月現在販売していた既存のジェネリック商品による増収を約16億円（約17%）、残り17億円は本年7月以降に新発売する品目の増収を期待して見込んだものです。



■ DPC 病院への取り組み

2003年に全国の大学病院を中心とした特定機能病院（82施設）から導入されたDPCによる入院医療の支払い方式。2008年にはその対象病院が700施設以上に拡大されるなど、急性期病院において急速に広まっています。

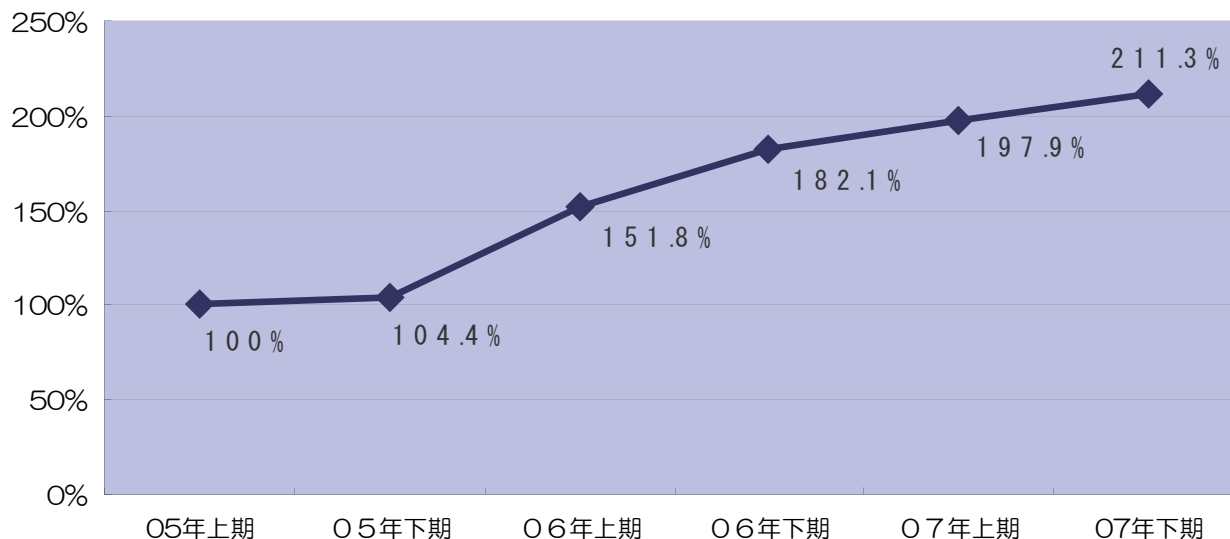


第6回DPCマネジメント研究会学術大会 会場風景

これらDPC病院は地域医療の中核を担うとともに、包括評価という特性上、ジェネリック医薬品使用促進のけん引役としての機能も期待されています。

当社はDPCマネジメント研究会の運営などを通じて最新の情報を提供し、これら病院との関係を強化することで当社ジェネリック医薬品の採用に注力をしています。

DPC 病院へのジェネリック売上高推移



*05年上期を100%とした場合のDPC病院におけジェネリック売上高の推移

■保険薬局への取り組み

当社がジェネリック医薬品市場の開拓において、DPC病院と同様に注力しているのが保険薬局へのプロモーション展開です。

国もジェネリック医薬品使用推進に対する保険薬局の役割を重視しており、2008年の診療報酬改定においても保険薬局におけるジェネリック医薬品の取り扱いを高く評価しています。



薬剤師向け診療報酬改定に関する講演会（当社主催）には約1,000名が参加

2008年診療報酬改定

ジェネリック医薬品関連のポイント

1. 処方箋様式の再変更
2. 後発医薬品調剤体制加算の新設
3. 保険薬剤師および保険薬局療養担当規則の変更

2008 年度 新製品

■ 2008 年 7 月新発売商品

一般名	薬効	剤型	先発品販売名	販売名
メロキシカム	消炎鎮痛剤	錠剤	モービック錠	メロキシカム錠「ケミファ」
エバスチン	抗アレルギー剤	錠剤	エバステル錠	エバスチン錠「ケミファ」
		OD錠	エバステルOD錠	エバスチンOD錠「ケミファ」
アムロジピン	高血圧治療剤	錠剤	ノルバスク錠・アムロジン錠	アムロジピン錠「ケミファ」
グラニセトロン	制吐剤	ゼリー	先発製剤なし（先発は錠）	グラニセトロン内服ゼリー「ケミファ」
シプロフロキサシン	抗菌剤	パック	シプロキサシン注	シプロフロキサシン注「ケミファ」
ベニジピン	高血圧治療剤	錠剤	コニール錠	ベニジピン塩酸塩錠「NPI」
リスペリドン	抗精神病薬	錠剤	リスパダール錠	リスペリドン錠「NP」

■ 特長ある新製品①

アムロジピン錠「ケミファ」

保険薬局などの医療機関をはじめ、患者さんにとっての安全性や利便性を向上させるために、以下のような工夫を行いました。

1. ユニバーサルデザインを採用し、視認性を向上させました。
2. ウィークリー包装に 140 錠包装を追加し、患者さんの利便性を高めると共に、医療機関の在庫負担を軽減しました。
3. 調剤時の取り違い防止を目的にウィークリーシート（14 錠）のサイズを 10 錠シートよりも長いサイズに変更しました。

ユニバーサルデザイン（UD）とは
年齢・性別・障害に関係なく、あらゆる人が商品・サービス・
住居・施設を快適に利用できるように配慮されたデザイン
のことです。



10 錠



14 錠

■特長ある新製品②

グラニセトロン内服ゼリー「ケミファ」

患者さんの服用感を改善するために、先発製剤にはない以下のような製剤を発売しました。

1. ゼリー剤はグラニセトロン製剤では、国内初の新剤形です。
2. 従来の注射剤、錠剤、細粒にゼリー剤が加わることで、治療上の選択肢が広がることが期待されます。
3. 本剤はスティックタイプの内服ゼリー剤であり、高齢者や小児、嚥下困難な患者さんにおいても服用しやすい剤形です。
4. 本剤はエアープッシュ式ゼリーとなっております。充填した空気の作用でゼリーを押し出す方式であるため、薬剤の取り出しに強い力を必要とせず、容易に服薬することが可能です。



(国内特許 名称：袋状容器入り医療用ゼリー剤、特許番号：3665498)



2008年7月新発売品目